

栗田勤 史論、修史家。安政四年生れ、昭和五年十月十五日歿（一七七一
一九三〇）。通稱勤二。號海屋。栗田寛の養嗣子。水戸の彰考館で修史の
業に従事、傍ら輔仁學舎で子弟を教育。大正十五年皇道義會で「水戸
學本義」を講演、また昭和四年陸軍特別大演習の折來席の 昭和天皇
の、清水止健と共にお前講演をした。

著書に「弘道館記及述義詳解」（堀口貫道編、昭和二年七月五日大岡
山書房）、「義公生誕二百年記念講演集」（他十二名合著、昭和八年
二月十日茨城・義公生誕二百年記念會）、「お前講演と水戸學本義」
（清水止健合著、昭和十一年七月一日茨城・水戸の學風普及會編刊）、
「水戸學講話」（清水止健合著、昭和十九年三月三日明文社）等。

